

日本パブリックリレーションズ協会会員誌

PRsj

PUBLIC RELATIONS
SOCIETY OF JAPAN

NEWS

2020 年 2 月号
NO. 315

TOPICS

「バベルの塔」の再建を防ぐために

(公社)日本パブリックリレーションズ協会 理事 殿村 美樹

MESSAGE P3

「新春PRフォーラム・賀詞交歓会」開催報告

REPORT P4

How to PRSJ 企業業部会【後編】

REPORT P6

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木 6 丁目 2 番 31 号 六本木ヒルズノースタワー

5F 電話(03)5413-6760 ファックス(03)5413-2147

URL <https://www.prsj.or.jp/>

関西支部 〒530-0003 大阪市北区堂島 2-1-27 桜橋千代田ビル 3F
電話(06)6344-3002 ファックス(06)6344-3005

発行人: 畔柳 一典

2月号 目次

2月～3月のスケジュール	—	1
MESSAGE(メッセージ)	「バベルの塔」の再建を防ぐために	— 3
REPORT(特集)	「新春PRフォーラム・賀詞交歓会」開催報告	— 4
〃	How to PRSJ 企業業部会【後編】	— 6
BULLETIN(活動報告)	広報・PRスキルアップ実践講座第6回「戦略的企業文化の醸成」開講	— 9
〃	冬の「PRプランナー3次試験対策講座」を終了	— 10
協会掲載記事	PRSJ in Media	— 11

2月～3月スケジュール

PRプランナー1次試験対策講座(冬期)

日 時 : 1月29日(水)、2月4日(火)、12日(水)、19(水)
いずれも 19:00～21:30
会 場 : 六本木アカデミーヒルズ 49

第34回広報ゼミ

日 時 : 2月12日(水) 16:00～
会 場 : 西武ホールディングス新本社ビル「ダイヤゲート池袋」
(株)朝日新聞社 働き方改革実行委員会事務局長 空田陽史氏
講 師 : 日本マイクロソフト(株)業務執行役員コーポレートコミュニケーション本部
本部長 岡部一志氏
(株)NTTデータ 広報部 課長 星野真一氏
テーマ : 「働き方改革」～メディアサイド・企業サイドでどう変わる?～

PRアワード受賞事例公開セミナー

日 時 : 2月13日(水) 18:30～21:10
会 場 : 富士ソフトアキバプラザ

第205回定例研究会

日 時 : 2月19日(水) 12:00～14:00
会 場 : 六本木アカデミーヒルズ 49
講 師 : Twitter Japan(株) CPG 業界担当 シニアクライアントパートナー
青山康成氏
テーマ : Twitter の最新の動向と多彩な活用事例
～PR・マーケティングで成果の上がる Twitter 活用法を探る～

広報・PR実務講座 2019

広報PRスキルアップ実践講座

第7回「広報効果測定」

日 時 : 2月20日(木) 19:00～21:00
会 場 : 六本木アカデミーヒルズ 49
(株)オズマピーアル ビジネス開発本部 コミュニケーションデザイン部
エキスパート 登坂 泰斗氏
講 師 : (株)オズマピーアル ビジネス開発本部 コミュニケーションデザイン部
コミュニケーションディレクター 猿田 一揮氏
マーケティング施策と連動してとらえる広報効果測定の考え方と具体的
テーマ : な方法～事例から示す無償ツールの活用、SNS波及とその効果の測定
～

PRプランナー資格認定制度

第26回1次検定試験

日 時 : 3月1日(日) 9:30～12:00
会 場 : 東洋学園大学 本郷キャンパス(東京)
毎日インテシオ(大阪)
AQUA 博多(福岡)

2月～3月の理事会・委員会・部会スケジュール

定例理事会	(2 月度)	日 時	: 2 月 13 日 (木)	16:00～17:30
			一般財団法人 産業人材研修センター 霞会館	
	(3 月度)	日 時	: 3 月 12 日 (木)	16:00～17:30
		会 場	: 一般財団法人 産業人材研修センター 霞会館	
教育委員会	(2 月度)	日 時	: 2 月 21 日 (金)	12:00～13:30
		会 場	: 協会会議室	
資格委員会	(2 月度)	日 時	: 2 月 27 日 (木)	12:00～13:30
		会 場	: 協会会議室	
国際・交流委員会	(2 月度)	日 時	: 2 月 17 日 (月)	16:30～18:00
		会 場	: 協会会議室	
広報委員会	(2 月度)	日 時	: 2 月 26 日 (水)	16:00～17:30
		会 場	: 協会会議室	
顕彰委員会	(2 月度)	日 時	: 2 月 19 日 (水)	16:00～17:30
		会 場	: 協会会議室	
企業部会幹事会	(2 月度)	日 時	: 2 月 5 日 (水)	17:00～18:30
		会 場	: 協会会議室	
PR業部会幹事会	(2 月度)	日 時	: 2 月 18 日 (火)	16:00～17:30
		会 場	: 協会会議室	

「バベルの塔」の再建を防ぐために

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会
理事 殿村 美樹

関西支部の理事を拝命して4年になります。その間、東京とは離れた視点で、パブリックリレーションズの役割を考え続けてきました。日本は国民の7割が地方に住み、国内企業も99.7%が中小企業だからです。

そして今年こそが、国内で真のパブリックリレーションズを伝えるターニングポイントになると思っています。春に5Gの商用サービスが始まるからです。

5Gは様々な面で社会を変える産業革命と言われていますが、PRを振興する私たちが最も注目すべきは、世界中の言語が瞬時に理解できる、夢のようなコミュニケーションが現実になることでしょう。もちろんネイティブな会話には及びませんが「言葉の壁」が無くなることは否めません。便利な反面、文化や価値観の違いがリアルに露呈してトラブルも増えるはずです。ここで必要になるのがパブリックリレーションズです。

パブリックリレーションズは、ご承知のとおり、多彩な国の人々が共存するアメリカ合衆国で培われた異文化コミュニケーションです。文化や価値観が異なるため自分を積極的にアピールし、理解できる部分を探して、Win&Winの信頼関係をつくります。

ところが現在、大半の日本人は自分をアピールする部分だけをPRと解釈しており、「安い広告」と軽んじる人も少なくありません。同じ言語を使い、文化や価値観にも大きな違いがない島国なので仕方ありませんが、急激な国際化とインターネットの普及で外国人と日常的に接するようになった今、5Gで言葉の壁がなくなった途端、これまで見えなかったトラブルが噴出することは想像に難くありません。

今こそ日本人は、パブリックリレーションズを正しく理解しなければならないのです。

さらに地方では「東京一極集中の日本より海外の方がマシ」とばかりに、海外の地域や企業と手を組む自治体や企業が増えています。また私が教壇にたつ同志社MBAでは、外国人留学生達が「日本の地方は忘れられた存在。外国人がビジネスを始めやすい」と明言しています。そこに5Gが投入されるのです。「言葉の壁」が保っていた秩序やルールが崩れ去り、再び「バベルの塔」を建てるような無謀な動きが出たとしても不思議ではありません。

事を計るは人、事を成すは天。「成功哲学」を説いたナポレオン・ヒルの名言ですが、もし人が再び「バベルの塔」を建てようとするなら、天は容赦なく取り消すでしょう。その代償がさらなるコミュニケーションの分断にならないよう、パブリックリレーションズを伝えなければならぬと、私は思います。

「新春PRフォーラム・賀詞交歓会」開催報告

1月22日(水)、東京・六本木の国際文化会館で、協会主催イベントである「新春PRフォーラム・賀詞交歓会」を実施。合わせて延べ人数約100余名の方々のご参加をいただきました。

当日は、「日本PR大賞 パーソン・オブ・ザ・イヤー」及び「日本PR大賞 シチズン・オブ・ザ・イヤー」表彰式、「新春特別講演会」の後、会場を移動。賀詞交換会は、窓一面に広がる日本庭園を眺めながらの歓談となりました。

各々の報告は以下の通りです。

【新春PRフォーラム】

16:00 から「岩崎小彌太記念ホール」で、2019 年度日本PR大賞「パーソン・オブ・ザ・イヤー」「シチズン・オブ・ザ・イヤー」の表彰式を行いました。

当日は「パーソン・オブ・ザ・イヤー」に選出されたラグビー日本代表ヘッドコーチのジェイミー・ジョセフ氏に替わってご出席いただいた公益財団法人日本ラグビーフットボール協会の森重隆会長と、「シチズン・オブ・ザ・イヤー」に選出された一般社団法人「注文をまちがえる料理店」の皆様が表彰式に出席。それぞれ畔柳理事長から表彰状、トロフィーが贈呈されました。

ジェイミー・ジョセフ氏は、ラグビー日本代表ヘッドコーチとして、ラグビーワールドカップ2019 日本大会において日本代表を初のベスト8に導くなど、指導者として見事な手腕を発揮した。また“ONE TEAM”のスローガンの下、多様性を重んじるラグビー精神を多くの日本人に理解させ、新しいラグビーファンの獲得とラグビーブーム復活に大きく貢献。

一般社団法人「注文をまちがえる料理店」は、注文を取るスタッフがみんな認知症の方。たとえば注文を間違えても『ま、いいか』と思えるような寛容さを社会が持つことの重要性を多くの人に気づかせ、また、認知症の方やそのサポーターに対しては、働くことの喜びを与え続けています。PR、外食、認知症介護など各分野のプロフェッショナルが集まり、プロジェクト化されたレストラン型イベントで、世界中に共感の輪が広がり各地でイベントが開催されています。社団法人化され、多様なパートナーとのコラボレーションにより活動の場を広げていることでプロジェクトを継続的な活動として展開しています。



17:00 からは、新春特別講演として、「北東アジアの地政学的変動と日本外交」をテーマに、佐藤 優氏にご講演いただきました。詳しい講演内容につきましては、来月以降の協会ニュースで改めてご報告させていただきます。

【賀詞交歓会】

新春PRフォーラムが終了後、会場を同階「樺山・松本ルーム」に移し、賀詞交歓会を開催いたしました。

畔柳理事長の挨拶に続き、佐藤優氏によるご挨拶と竹内副理事長の乾杯のご発声ののち、懇談の時間となりました。



ビュッフェ料理やお酒に舌鼓を打ちながら談笑したり、会員同士の名刺交換をするシーンが会場の至るところで見受けられました。そして、19時45分に大石副理事長による中締め挨拶があり、盛況のうちに2020年の賀詞交歓会が終了いたしました。



■特集：How to PRSJ 企業業部会【後編】

「突然、広報をやれと言われた！」

そんな人にこそ PRSJ の活動に参加してほしい。

<出席者>

(株)東急ホテルズ セールス&マーケティング部

天野模子さん

京王電鉄(株) 広報部 長谷川和憲さん

(株)エレクトロニック・ライブラリー カスタマー
サポート部 竹内香織さん

発言順

<実施日>

2019 年 11 月 6 日 (水)



天野さん(左)、長谷川さん(中央)、竹内さん(右)

昨年好評だった How to PRSJ P R 業部会編につづき 今回は第 2 弾として『How to PRSJ 企業部会編』を先月号と今月号で、前編後編に分けて掲載しております。企業広報の立場から PRSJ に参加する魅力や意義、活用法などを語り合ってもらいました。

- - - - - 後編 - - - - -

【企業や経験の壁を乗り越えて語り合えるのが、PRSJ の魅力】

司会：協会の活動に参加した時の最初の接点が企業部会の幹事会だったと思いますが、やってみてどうですか？

天野：異業種の広報の方のお話を伺えることや、部会に参加しないと得られない情報もあるので、とても刺激を受けています。

長谷川：同業以外の業種の広報のかたと知り合う機会は、ここに入っていないとほとんどないだろうなと。去年参加させていただいた新任部長講座も「私、広報初めてなんですよ」って人もたくさんいて、心強いというか(笑)。人とたくさん知り合えるのはすごくいいなと思っていますね。

竹内：今度 11 月に開催する広報ゼミの担当を「やります！」自ら立候補してしまい、自分の能力以上の役割に「大丈夫かな」と思ったのですが、でも企業部会の幹事会のみなさんが手を差し伸べて下さり、中身の濃いゼミになりそうです。ゼミの企画をしたことが自分の経験にもつながっているので、手を挙げてよかったなと思いますね。

司会：ボランティア的にお願いしなくてはいけない中、積極的に進んでやっていただけるというのはとてもありがたいと思っているんですけど。逆に、ボランティアでやっているからこそ経験

できるようなことはありますか。



竹内：ゼミへの登壇を会員企業の皆様をお願いしていく過程での出会いもありますし、登壇者のかたの広報業務についての考え方をじっくり聞く機会をいただけたこともありました。ボランティアをやったことで得るものも多かったと思います。

長谷川：話題の選定のしかたを議論していると、時流もあって、困っていること、知りたいことっておんなじだなと。課題意識は共通なんだなと感じています。例えば「情報漏洩時の広報対応」の事例を話していて、同じ悩みをもっていらっしゃる人たち同士だからこそ、事例を共有して、次はどうしたらいいかという話をする場がつかれるのかなと。

【難しいけれど必要なのは、広報の基準づくり】

司会：プランナーの試験を会社の広報のみなさんが受けるのは、そのへんと関連があるんですか？

天野：弊社は接客をしていた者が突然の辞令で広報担当になったり、他の業務との兼務で広報の仕事をしていることが多く、スタッフから広報の基礎を学びたいという声が上がっていました。

また私自身、基礎知識がないと我流になり、広報・PR 活動が中途半端になってしまう可能性があることに危機感を持っていました。何かいい方法はないかと悩み、たどり着いたのがPRプランナーでした。まずは自ら受験することで、勉強期間や試験対策、難易度を確認しました。

実際受けてみて感じたことは、広報・PR の基本はもちろん、危機管理、コミュニケーション、マーケティング、ブランドの基礎をしっかりと学べることです。苦労したのはIR 勉強でした。弊社は非上場会社のため馴染みがなく覚えるのが大変でしたが、担当している業務は広報・PR のごく一部と改めて気づくことができました。2019 年度からはPRプランナーが資格取得報奨金の対象となり、25 人が1 次試験にチャレンジしました（合格人数は秘密です）。合格者からは、基礎知識を得ることで自身を持って仕事に取り組める、という感想が最も多かったです。現在は各自2・3 次試験の合格に向けて励んでいます。資格取得者が増えることで、広報・PR には基礎知識は学べば身につくということを醸成していきたいです。



司会：広報のスタンダードがどこにあるのかというのは難しいですね。

長谷川：自分自身、何の関係もないところから広報に来ましたから、基準って、正解って何なんだろうなって思うときは確かにあります。一つの事象にどう対応するべきか、そういう基準みたいなものがあれば楽と思うときもあります。

司会：部会で定期的に会って話したりすると、なんとなくそういう基準が見えてくることはありますか？

竹内：おそらく一人一人の課題は違うけれども、「ベストの広報のやり方って何だろう」というのをみなさん常に貪欲に探っていたらいいかな。そこを勉強会や他業務との交流を通じて補強していたらいいかなと思います。

【PRSJ ならではの機会と経験づくりの場を広げていく】

司会：最後に PRSJ の活動として、こんなことができるといいかな、ということはあるですか？

竹内：会員同士が集まるサロンみたいなものがあたらいいかな、と思います。あとは、SNS で、こういうフォーラムに参加しました、などがリアルに伝わるいいかなと思います。

長谷川：ジャストアイデア的に思うのは、みんなで集まれるところ。「そういえば PRSJ のここの部屋に行けばみたいになれば（笑）」という場があるとおもしろいかな、と思いました。広報パーソンが集まる秘密基地じゃないですけど（笑）。

天野：例えば SDGs や話題の社会・経済問題など、業界を縛ることなく話題にできるテーマについて、広報・PR の視点で話し合うイベントや研究会なども楽しそうだな、と思います。

司会：最後に、新しい仲間を迎えるメッセージがあれば。

竹内：参加してみて思ったのは、PRSJ はベテランの名誉職ではなく、ベテランの人も、マネジメント層も、私のような勉強中の人間も、それぞれが業務の向上を常に意識していて、悩みをもっている。そこを、異業種でつながれる場所だな、情報交換できる場所だなと思っています。突然広報になったという人こそぜひ活用して、ご自身の業務を広げるきっかけにされてはいいかなと思います。

天野：興味深い講座やイベントが多く、また PRSJ に入会しなければ出会えなかった異業種の方と繋がれることが魅力的だと思います。

長谷川：先日の寺田倉庫さんの見学だとか、なかなか見られない場所を見られるので、そういったところにぜひ興味のある人は見に来ていただきたいです。別の企画の時には夜景のいいところで懇親会もあったり。そのへんも勉強だけではなくて、なかなかあんな景色のいいところに行く機会もないと思うので、そんなこと目当てに来ていただくだけでもいいかなと思います。



司会：本日はありがとうございました。

広報・PR実務講座 2019

広報・PRスキルアップ実践講座

第6回「戦略的企業文化の醸成」を1月23日に開講

教育委員会

1月23日、協会は「広報・PRスキルアップ実践講座」第6回として、企業文化の醸成をテーマとする講座「すべての社員に企業理念とビジョンを浸透させて、自発的な貢献意欲を促すために～社員のエンゲージメントを高める効果的なコミュニケーション手法、施策とは～」を六本木アカデミーヒルズ49にて開講しました。

経済のグローバル化やネット利用の高度化により急速に変化する事業環境を背景として、企業は将来への生き残りをかけた大きな変革が求められています。しかしながら多くの企業では、セクショナリズムや事なかれ主義、不必要な付度などそれぞれが抱えるさまざまな要因に阻害され、思うような変革の達成が遂げられないのが現状です。今回の講座は、企業の理念やビジョン、行動規範を全従業員に浸透させることを通じて従業員のエンゲージメントを高め、強い競争力を有する企業をいかに作り上げるかをテーマとして開講しました。



講座では講師として、インターナル・コミュニケーション施策の提案をはじめ企業への支援に実績のある（株）ソフィアのフィールドリサーチ&コンサルティング事業責任者 森口静香氏をお招きしました。

講義は、講師の会社紹介、初対面である受講者相互の緊張を和らげるアイスブレイクから始められました。そして事業や生活を取り巻く環境の変化とそのなかで事業に取り組む企業の現状について理解を深め、ポイントとして会社のパラダイムを変えるにはコミュニケーションの強化、企業風土や組織の改革、マネジメントのエンゲージメントを高めることの重要性について触れられています。

さらに社員の行動変容をめざすプロセスとして社員の感情や意識、行動様式の状態に合わせて、コミュニケーションシナリオをデザインする必要性が示されました。

また、講師が実際に風土改革を支援した（株）西武ホールディングスに加え、2社の変革に関する事例解説を通じ、社員の行動変容をうながすための改革のアプローチは会社のステージ、状況、事業特性によっては様々であることが解説されました。講座の後半には受講者それぞれの立場において会社が抱える問題の分析を行い、改善に向けた対応法を考えるなど実践的な能力を養うワークショップが行われています。

2時間では解説しきれないほど豊富な内容が込められた本講座は、企業の変革を考える多くの受講者から高い関心を集めたようでした。終了後は講師との名刺交換を希望する受講者の長い列もでき、意義深い講座として終了することができました。

(事務局・真部)

広報・PR実務講座 2019

冬の「PRプランナー3次試験対策講座」を終了 ～第25回3次試験に向け六本木アカデミーヒルズで開講～

教 育 委 員 会

協会では、今年1月25日の「第25回PRプランナー3次試験」の受験者を対象とした「PRプランナー3次試験対策講座（冬期）」を6回にわたり開講しました。

第25回目を迎えたPRプランナー3次試験は、300名をこえる上回る受験者を集めており、PRプランナー資格の評価はいっそう高まっていることがうかがわれます。その勢いに呼応し、冬の3次試験対策講座も多数の受講者を集めました。



今回の対策講座は、昨年12月11日に第1回を開講しました。その後、年明けの1月20日にかけて6回を「六本木アカデミーヒルズ49」（東京都港区六本木）で行っています。

講師は、前回に引き続き「ニュースリリースの作成」を（株）電通パブリックリレーションズの青田浩治氏、「広報・PR計画の立案作成（マーケティング課題）」を（株）オズマピーアールの野村康史郎氏、そして「広報・PR計画の立案作成（コーポレート課題）」は（株）井之上パブリックリレーションズの高野祐樹氏の3人のベテランが担当、経験の深い各講師の経験や知見が存分に示されました。

会場講座には多数の受講者が参加し、講座終了の時刻である午後9時30分以後も講師への質問が続くなど試験合格に向けた熱気に包まれた講座となりました。開講当初は疎遠であった受講者も、回を重ねるごとく交流を深め、業界や企業を超え親交を深める姿も見受けられました。

「第25回PRプランナー3次試験」は、1月25日に東京・品川の「富士通ラーニングメディア」にて実施されました。3次試験対策講座の受講者多数の合格が期待されています。

なお、第26回3次試験は東京オリンピックの開催時期が迫るため、7月11日に実施が予定されています。このため、夏の講座は、6月に集中的な日程のもとに開講を検討しています。講座の詳細ならびに受講受付は、5月上旬を目途に当協会のWebサイトで行います。

（事務局・真部）



PRSJ in Media

●12月28日（土） 『月刊広報会議』2月号

『月刊広報会議』2月号における当協会の連載コラムで、協会の国際・交流委員会が主催した大使館訪問について掲載されました。コラムでは、国際・交流委員会による大使館訪問の趣旨をはじめ、9月のブラジル大使館訪問、11月のアルゼンチン大使館訪問の概要が紹介されています。

ブラジル大使館訪問では大使館の外観の特徴、世界第9位となった国民総生産額について触れるとともに、2部構成で進められた訪問プログラムの概要が取り上げられています。

また、アルゼンチン大使館訪問については、アルゼンチンと日本との交流、イグアスの滝をはじめとするアルゼンチンの豊富な観光資源について解説が行われたこと、アルゼンチンタンゴの鑑賞が行われたことなどが紹介されました。

●1月20日（月） 『CM通信』

『CM通信』1月20日号に、当協会の2019年度PR大賞において、「パーソン・オブ・ザ・イヤー」にラグビー日本代表ヘッドコーチのジェイミー・ジョセフ氏、「シチズン・オブ・ザ・イヤー」に社団法人「注文をまちがえる料理店」が選出されたことが報じられました。

記事では、1月22日の表彰式の実施、両賞の趣旨、さらにジェイミー・ジョセフ氏、「注文をまちがえる料理店」のプロフィールが紹介されています。

●1月23日（木） 『サンケイスポーツ』

『サンケイスポーツ』1月23日号に、ラグビー日本代表ヘッドコーチのジェイミー・ジョセフ氏が当協会の「日本PR大賞」を受賞したことが報じられました。記事では、表彰式にラグビー協会の森重隆会長が代理出席したことにも触れられています。

[記事協力：株式会社内外切抜通信社]

編集担当より

本誌の内容に関するご意見・ご希望をお寄せください。
中身の濃い会員誌に育てていきたいと思っておりますので、
よろしくお願い致します。

広報委員会

Eメール mail@prsj.or.jp

F A X 03-5413-2147

※ 禁転載